

アイフル通信

53

June
2023

第46期 期末報告 2022.4.1～2023.3.31

そ
こ
に



は
あ
る
ん
か
？

経営理念

誠実な企業活動を通じて、 社会より支持を得る

経営テーマ

環境変化に応じた組織・制度の変革と デジタル技術の活用により、 IT金融グループとして成長を遂げる

- アイフルグループが100年企業、更にもその先も社会から支持され続けるために、これまで以上に「誠実な企業活動」を行い、「新たなリーダーとそれを支える社員の努力と結束力」で実現する
- 今後は、これまでの縮退期に遅れが生じた能力評価・人員配置の適正化と組織体制の合理化を加速させるとともに、技術革新による変革と創造を実践する
- 変化する社会的ニーズに対応できる安全性・収益性・成長性の高いグループへと生まれ変わり、持続可能な発展への貢献を果たす



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年3月期は、テレビCMやWEBを中心とした効果的な広告戦略のほか、公式サイトやスマホアプリ、申込フォームの改修などUI/UX向上に向けた取り組みを実施した結果、営業債権残高が12年ぶりに1兆円を突破しております。

今後におきましては、経営課題の一つである利息返還請求への対応を行いつつ、アイフルの認知度を活かした効果的な広告戦略や様々なグループ商材の販売により、グループ全体でさらなる残高成長を目指してまいります。



経営戦略

グループのブランディング浸透やグローバル戦略を見据え、この先50年、100年後も新たな価値を提供していく企業姿勢にふさわしいイメージへのアップグレードを行うため、VIを刷新、アートシンボル・社名ロゴの変更、子会社の商号変更もを行いました。

2022年7月7日より



グローバル戦略を見据え新たな「アートシンボル」と「社名ロゴ」に

2023年2月1日より



「情緒的価値」を重視し、「若年層」に選ばれることを目指す

グループ会社の商号・ロゴ変更

- | | | |
|------------------------------|---|------------------------------|
| アイフル
ビジネスファイナンス | ▶ | AG ビジネスサポ ^o ート |
| AG MEDICAL | ▶ | AG メディカル |
| ミライパライ | ▶ | AG ミライパライ |
| アイフル
ギャランティー | ▶ | AG キャランティー |
| AG 債権回収 | ▶ | AG 債権回収 |
| アイフル住まいるリースバック | ▶ | AG 住まいるリースバック |
| AG Capital | ▶ | AG キャピタル |
| AG Crowd Fund ^{ing} | ▶ | AG クラウドファンテ ^{ing} ク |
| アイフルパートナーズ | ▶ | AG パートナース |
| アイフル
ストックセンター | ▶ | AG ストックセンター |

また、IT金融グループとしての成長を遂げるべく、IT人材への投資を強化し、デジタル技術を活用したデータ分析やシステム内製化に取り組むとともに、「成長性」と「収益性」の両立による営業債権残高の拡大や、連結利益最大化に向けた経営資源の適正な活用に努めてまいります。

2023年3月期の業績について

営業収益については、営業貸付金利息、信用購入あっせん収益、信用保証収益の増加等により、1,441億円(前期比9.1%増)となりました。

また、営業費用は、利息返還関連費用が発生しなかったことにより、1,204億円(同0.4%減)となりました。

以上の結果、営業利益は237億円(同111.0%増)、経常利益は244億円(同99.2%増)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、非支配株主に帰属する当期純利益6億円を計上した結果、223億円(同81.1%増)となりました。

2024年3月期の計画について

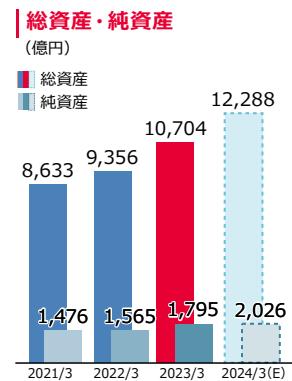
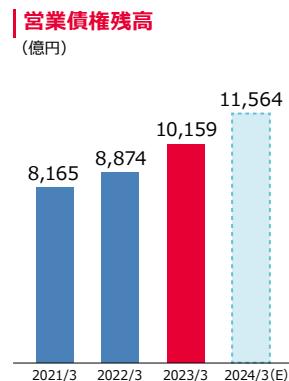
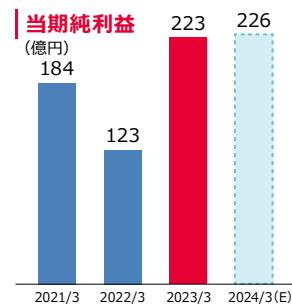
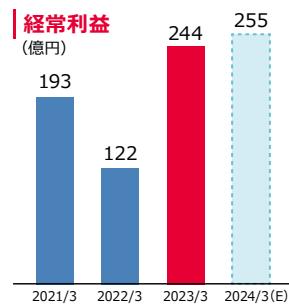
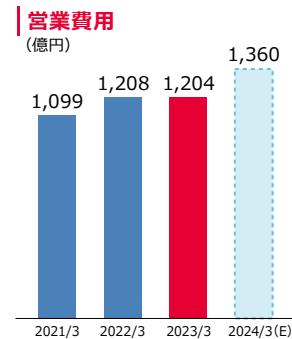
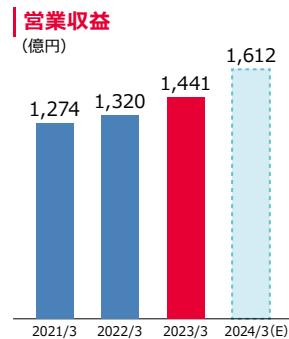
2023年3月期の連結業績予想は、営業収益1,612億円(前期比11.8%増)、営業費用1,360億円(同12.9%増)を見込んでおります。この結果、営業利益は252億円、経常利益は255億円、親会社株主に帰属する当期純利益は226億円を計画しております。

🌀 最後に

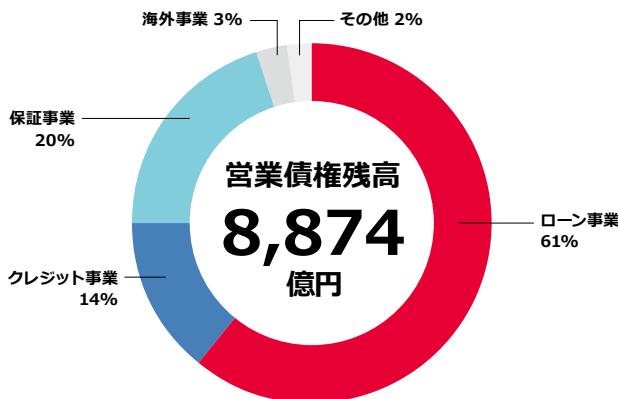
経済活動の活発化や環境面の改善を背景に、広告宣伝費を初めとした先行投資を継続し将来的に高い利益水準を確保するため、新規獲得・営業債権残高の拡大に努めてまいります。また、引き続き、アイフルグループは「シンプル化」による「分かりやすさ」を徹底し、業務効率化やお客様視点でのUI/UXを追求するとともに、効率的な新規獲得やコスト改善に取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月
アイフル株式会社 代表取締役社長
福田光秀



事業別概要



ローン事業 (国内)

国内ローン事業は、新型コロナウイルス感染症への活動制限の緩和により、社会経済活動の回復への動きがみられ、当期末の営業貸付金残高は6,194億円(前期末比11%増)となりました。このうち無担保ローンの残高は5,213億円(同8%増)、事業者ローンの残高は721億円(同23%増)となりました。

アイフルにおいては、テレビCMやWEBを中心とした効果的な広告戦略のほか、公式サイトやスマホアプリ、申込フォームの改修などUI/UX向上に向けた取り組みを実施し、新規成約件数や営業貸付金残高の増加に努めております。その結果、当期の新規申込件数は、94万2千件(前期比48%増)、新規成約件数は30万件(同43%増)となりました。

クレジット事業

ライフカードではテレビCMの再開などにより若年層を中心とした新規会員の獲得に努めるとともに、会員向けWEBサイトや公式アプリの改修によりUI/UXの向上を図り、お客様のニーズに応じた機能や特典を付与することで、稼働率向上などに取り組んでまいりました。

その結果、当期末の有効会員数は514万人(前期比2%減)、カード買上額は7,403億円(同8%増)、連結での割賦売掛金残高は1,428億円(前期末比22%増)となりました。

また、割賦売掛金残高には連結対象のAGギャランティーにおける個別信用購入あっせん残高354億円を含んでおります。

信用保証事業

信用保証事業につきましては、個人及び事業者の与信ノウハウや独立系の強みを活かし、保証残高拡大に向けた商品の多様化や新規保証提携の推進に取り組んでまいりました。その結果、連結の信用保証残高は2,034億円(前期末比18%増)、個人向け無担保ローン保証残高1,622億円(同14%増)、事業者向け保証残高412億円(同42%増)と前期末比では2桁成長を維持しております。

海外事業

タイ王国では、主産業である観光業などの回復に伴い、個人消費も回復基調にあります。消費者金融事業を営むAIRA&AIFULでは、積極的な広告宣伝によりWEBでの集客に注力しております。その結果、口座数は35万件(前期比8%増)、ローン残高は293億円(前期末比25%増)となりました。(AIRA&AIFULは12月決算のため、口座数・貸付残高ともに2022年12月末時点の実績となります)

ローン事業 (国内)

6,194 億円 (前期末比+11%)

主要数値

無担保ローン : 5,213 億円 (前期末比+8%)

事業者ローン : 721 億円 (前期末比+23%)

クレジット事業

1,428 億円 (前期末比+22%)

主要数値

買上実績 : 7,403 億円 (前期末比+8%)

信用保証事業

2,034 億円 (前期末比+18%)

主要数値

個人向け保証残高 : 1,622 億円 (前期末比+14%)

事業者向け保証残高 : 412 億円 (前期末比+42%)

海外事業

293 億円 (前期末比+25%)

主要数値

口座数 : 356 千件 (前期末比+8%)

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

(単位：百万円)

[資産の部]	前期末 (2022年3月31日)	当期末 (2023年3月31日)
流動資産	880,801	1,009,948
現金及び預金	44,448	43,251
① 営業貸付金	547,457	614,229
② 割賦売掛金	110,244	136,559
営業投資有価証券	2,312	2,540
③ 支払承諾見返	193,225	221,659
買取債権	5,338	6,985
その他	35,681	47,762
④ 貸倒引当金	△ 57,906	△ 63,040
固定資産	54,841	60,537
有形固定資産	16,908	16,238
無形固定資産	6,737	8,392
投資その他の資産	31,195	35,906
資産合計	935,642	1,070,485

[負債の部]	前期末 (2022年3月31日)	当期末 (2023年3月31日)
流動負債	549,257	572,912
支払手形及び買掛金	40,919	43,066
支払承諾	193,225	221,659
⑤ 短期借入金	77,310	69,582
1年内償還予定の社債	35,000	-
1年内返済予定の長期借入金	166,786	183,832
その他	36,015	54,771
固定負債	229,859	317,979
⑤ 社債	-	-
長期借入金	197,271	249,087
⑥ 利息返還損失引当金	24,594	17,383
その他	7,993	6,509
負債合計	779,116	890,892
[純資産の部]		
株主資本	152,495	174,354
資本金	94,028	94,028
資本剰余金	14,017	14,017
利益剰余金	47,560	69,419
自己株式	△ 3,110	△ 3,110
その他の包括利益累計額合計	1,404	1,718
新株予約権	-	-
非支配株主持分	2,626	3,520
⑦ 純資産合計	156,526	179,593
負債純資産合計	935,642	1,070,485

(注) その他は1円桁まで足した数値を記載しております。

① 営業貸付金

ローン事業の無担保ローンの増加を主な要因として、会計ベースの営業貸付金残高は前期末比12.2%増の6,142億円となりました。なお、流動化による調達のため、営業貸付金の一部をオフバランスとしております。

② 割賦売掛金

AGギャランティーにおいて、新規加盟店の開拓ならびに買上が順調に推移した結果、会計ベースの割賦売掛金残高は前期末比23.9%増の1,365億円となりました。

③ 支払承諾見返

信用保証事業が順調に推移した結果、オフバランスとした営業貸付金(流動化債権)に対する保証を含めた会計ベースの支払承諾見返残高は前期末比14.7%増の2,216億円となりました。

④ 貸倒引当金

当期において、貸倒損失の発生分307億円(うち利息返還請求にかかる債権放棄は7億円)を引当金から取り崩した一方、360億円の繰入を行った結果、貸倒引当金は前期末比51億円増(同8.9%増)の630億円となりました。なお、利息返還請求にかかる債権放棄の引当金は、前期末比7億円減(同25.5%減)の21億円となり、利息返還請求以

外の貸倒引当金は、前期末比58億円増(同10.7%増)の608億円となりました。

⑤ 有利子負債

金融機関からの借入や公募社債の発行など、資金調達の多様化を進めた結果、有利子負債は前期末比79億円増(同15.0%増)の6,115億円となりました。また平均調達金利は前期末比0.1pt減の1.11%となっております。

⑥ 利息返還損失引当金

利息返還金72億円(前期末比12.6%減)を引当金から取り崩した一方、繰入を行わなかった結果、利息返還損失引当金残高は173億円となりました。また、利息返還請求にかかる債権放棄引当金7億円(前期末比14.9%減)を引当金から取り崩した一方、繰入を行わなかった結果、利息返還請求にかかる債権放棄の引当金残高は21億円となりました。結果、利息返還損失関連の引当金総額は前期末比79億円減(同28.9%減)の195億円となりました。

⑦ 純資産

純資産は、利益剰余金の増加を主な要因として、前期末比230億円増(同14.7%増)の1,795億円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	当連結 会計年度 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
⑧ 営業収益	132,097	144,152
営業貸付金利息	76,332	83,230
包括信用購入あっせん収益	18,833	20,508
個別信用購入あっせん収益	1,266	2,649
信用保証収益	15,730	17,030
その他の営業収益	19,934	20,732
⑨ 営業費用	120,855	120,427
金融費用	7,041	7,068
貸倒関連費用	27,918	36,004
その他の営業費用	85,895	77,354
人件費	16,704	17,386
宣伝関連費用	14,590	20,737
広告宣伝費	11,321	16,876
販売促進費	3,269	3,861
⑩ 営業利益	11,242	23,724
営業外収益	1,058	747
営業外費用	35	44
⑪ 経常利益	12,265	24,428
特別利益	-	-
特別損失	-	468
税金等調整前当期純利益	12,265	23,959
法人税、住民税及び事業税等	2,602	3,349
法人税等調整額	△ 3,374	△ 2,336
当期純利益	13,037	22,946
非支配株主に帰属する当期純利益	703	603
⑫ 親会社株主に帰属する当期純利益	12,334	22,343

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

⑧ 営業収益

営業貸付残高増加に伴う営業貸付金利息ならびに、信用保証収益の増加等により、前期比9.1%増の1,441億円となりました。

⑨ 営業費用

営業債権残高拡大に伴う宣伝・貸倒関連費用は増加するも、調達金利の低下・業務効率化により、前期比0.4%減の1,204億円となりました。

⑩ 営業利益・経常利益

以上の結果、営業利益は前期比124億円増(同111.0%増)の237億円、経常利益は同121億円増(同99.2%増)の244億円となりました。

⑫ 親会社株主に帰属する当期純利益

非支配株主に帰属する当期純利益6億円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は223億円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	当連結 会計年度 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
⑫ 営業活動による キャッシュ・フロー	△ 15,628	△ 70,589
⑬ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,218	△ 8,947
⑭ 財務活動による キャッシュ・フロー	21,028	78,195
現金及び現金同等物に係る 換算差額	20	79
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	3,201	△ 1,261
現金及び現金同等物の 期首残高	35,945	39,147
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	-	-
現金及び現金同等物の 期末残高	39,147	37,885

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

⑫ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは営業貸付金および割賦売掛金の増加による資金の減少などにより、705億円(前期比 351.7%増)の資金を使用しております。

⑬ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産および投資有価証券の取得による支出などにより、89億円(前期比 303.3%増)の資金を使用しております。

⑭ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行および借入れによる収入などにより、781億円(前期比 271.9%増)の資金を得ております。

ハッカソン『aihack(アイハック)』



アイフルグループは京都や東京、タイ王国において大学生向けのハッカソンを開催しております。本イベントを通して、地域の経済活動と健全なリテールファイナンスの発展に寄与するとともに、17の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献したいと考えております。2023年3月期は国内外で3回開催致しました。



事業サポート商品の充実



金融システムとしてファイナンシャル・インクルージョンをテーマに、個人事業者の消費活動・経済活動を支える前述の様々な事業を行っております。全ての人々に金融サービスへのアクセスを提供できる社会の実現に貢献してまいります。

ソーシャルファイナンス・フレームワーク



アイフルグループはファイナンシャル・インクルージョンをコンセプトに商品開発に取り組み、新たなチャレンジを行う企業のサポートを通じて国内産業の発展に貢献すると同時に、社会課題となっている国内の医療及び福祉分野への事業支援や、金融インフラが未成熟な新興国における金融サービスへのアクセスの提供も行うことで社会へ貢献すべく取り組んでおります。このたび、ソーシャルボンドやソーシャルローンでの調達を通じてこうした取り組みを加速させるべく、消費者金融業界初となるソーシャルファイナンス・フレームワークを策定致しました。

株式会社日本格付研究所(JCR)による ソーシャルボンド・フレームワーク評価結果

総合評価	Social 1(F)
ソーシャル性評価(資金使途)	s1(F)
管理・運営・透明性評価	m1(F)

・Visa・Mastercard 推奨の決済スキームを活用した BtoB 向けカード決済サービスの提供



・最短即日振込のファクタリングサービスを提供



会社概要

2023年3月31日現在

商号 アイフル株式会社(AIFUL CORPORATION)

本社所在地 京都市下京区烏丸通五条上る高砂町381-1

創業 1967年(昭和42年)4月

設立 1978年(昭和53年)2月

資本金 940億28百万円

代表者 代表取締役社長 福田 光秀

社員数 2,180名(連結)

店舗数 840店(有人23・無人817)

ホームページ <https://www.aiful.co.jp/>

アイフルグループ一覧



・消費者向け無担保ローン ・事業者ローン ・信用保証



・クレジットカード ・プリペイドカード
・信用保証 ・収納代行

AG ビジネスサポート

・事業者ローン ・不動産担保ローン ・ファクタリング

AG 債権回収

・サービサー ・企業再生

AG キャピタル

・ベンチャーキャピタル

AG キャランティ

・自社割賦信用保証 ・個別信用購入斡旋

AG パートナース

・企業再生事業

AG ストックセンター

・倉庫・文書管理代行

AG ミライバライ

・後払い決済事業

AG メディカル

・診療報酬等担保ローン

AG クラウドファンディング

・貸付型クラウドファンディング事業

AG 住まいるリースバック

・リースバック事業



・家賃債務の保証



・少額短期保険事業



・各種業務システム開発 ・インフラ構築
・WEBサイト制作/WEBアプリ開発 ・テスト/検証



・消費者向け無担保ローン



・中古車オートローン

1967年	4月	現会長福田吉孝が個人経営の消費者金融業を創業
1978年	2月	株式会社丸高(現アイフル株式会社)を京都市に設立
1982年	5月	株式会社丸高が開連会社3社を吸収合併し、商号を「アイフル株式会社」に変更
1985年	3月	第1次スコアリングシステム(自動与信システム)導入
1994年	11月	ハートフルセンター(現コンタクトセンター)の開設
1995年	3月	自動契約受付機「お自動さん」を設置
2000年	3月	東京証券取引所市場第一部に指定
2001年	1月	ビジネクス株式会社(現AGビジネスサポート株式会社)を設立
2001年	3月	株式会社ライフの完全子会社化
2001年	11月	アストライ債権回収株式会社(現AG債権回収株式会社)を設立
2004年	3月	国際キャピタル株式会社(現AGキャピタル)の完全子会社化
2011年	7月	グループ再編を実施
2014年	1月	ライフギャランティ株式会社(現AGギャランティ株式会社)が割賦保証業務を開始
2014年	12月	タイ王国に合併会社「AIRA&AIFUL Public Company Limited」(A&A)を設立
2017年	5月	インドネシアで中古車オートローンを取り扱うREKSA FINANCEの株式40%を取得
2020年	6月	後払い決済事業を行うAGミライバライ株式会社を設立
2021年	4月	2007年に策定した理念体系を再構築し「VISION/MISSION/VALUE」を設計
2021年	7月	診療報酬等担保ローン事業を行うAGメディカル株式会社が事業を開始
2021年	9月	貸付型クラウドファンディング事業を行うAGクラウドファンディング株式会社が事業を開始
2022年	4月	不動産リースバック事業を行う現AG住まいるリースバック株式会社を設立
2022年	4月	東京証券取引所プライム市場へ移行
2022年	7月	グループVIを刷新 新たな「アートシンボル」と「社名ロゴ」を発表
2023年	1月	ペット保険事業を営む株式会社FPCの株式の取得(子会社化)
2023年	2月	アイフルビジネスファイナンス株式会社(現・連結子会社)が「AGビジネスサポート株式会社」へ商号変更
2023年	2月	ライフカードVIを刷新 新たな「アートシンボル」と「社名ロゴ」を発表
2023年	2月	ライフカード16年振りの広告(CM)展開
2023年	3月	SES事業を営むセブンシーズ株式会社の株式の取得(子会社化)
2023年	3月	12年ぶりに連結営業債権残高1兆円を突破

株主情報

株式構成

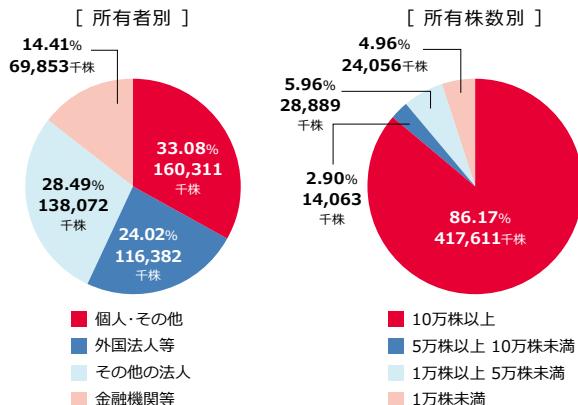
2023年3月31日現在

発行可能株式総数	1,136,280,000株
発行済み株式の総数	484,620,136株
株主数	22,292名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社AMG	94,814	19.56
福田 光秀	62,155	12.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	45,292	9.35
株式会社丸高	24,543	5.06
株式会社日本カस्टディ銀行 (信託口)	18,850	3.89
MSIP CLIENT SECURITIES	17,036	3.52
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	16,845	3.48
JP MORGAN CHASE BANK 385632	16,317	3.37
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	10,224	2.11
MSCO CUSTOMER SECURITIES	6,786	1.40

株式分布図



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031

インターネットホームページURL
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

単元株式数	100株
公告方法	電子公告
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
銘柄コード	8515

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

アイフルグループのホームページでは、会社情報、サービス内容、IR情報など最新の情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



アイフルIRウェブサイト
<https://www.ir-aiful.com/>

アイフル株式会社
<https://www.aiful.co.jp/>

ライフカード株式会社

- クレジットカード・法人カード
<https://www.lifecard.co.jp/>
- プリペイドカード V-Preca
<https://vpc.lifecard.co.jp/>

